



1 液マイルドウォールシーラー

用途

窯業系外装材の下塗材
・モルタル、コンクリート面の新規塗装

特長

- 乾燥性
水系の下塗材と比較して乾燥性に優れ、冬期等、水系下塗材が使い難い場合に最適。
- 低リフティング性
使用溶剤が弱溶剤であり、下地の既存旧塗膜に対して優しい。
- 優れた作業性
1液タイプで混合の必要が無いため作業性に優れる。

適海上塗材

適合基材

- ・各種仕上げ塗材旧塗膜
(樹脂系リシン・樹脂系スタック・吹き付けタイル等)
- ・窯業系サイディングボード
- ・モルタル・コンクリート
- ・ALCパネル

1 液マイルドウォールシーラー

適海上塗材

- ・ナノコンポジットW
- ・ナノシリコンW
- ・水系シリコンW
- ・水系エコラスター

塗装仕様

●ナノシリコンWが上塗りの場合(平滑仕上げ)

工程	使用塗料	塗装方法	希釈割合 (清水)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする。								
下塗り	1 液マイルドウォールシーラー 15 kg	ハケ・ローラー エアレス	既調合	1	0.1~0.15	100~150	-	4h以上 7日以内	-
上塗り	ナノシリコンW 15 kg	ハケ・ローラー エアレス	0~1.5kg	2	0.12~0.16	47~63	2h以上	-	24h以上

※塗付量にはシンナーは含まれません。塗付量は条件により増減します。
※下地の吸い込みが激しい場合は、1液マイルドウォールシーラーを2回塗り、もしくは『リフレッシュサフェーサーエポ』を塗装してください。

荷姿

1液マイルドウォールシーラー …… 15 kg

注意事項

各種上塗りの注意事項も、別途参照願います。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度・低気温の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。塗装後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
2. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
3. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
4. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
5. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
6. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
7. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
8. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意事項】

1. 使用前には十分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は十分に気をつけてください。
3. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マゼル等で十分攪拌してください。
4. 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。又、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
5. 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
6. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
7. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。